



ソフトボール競技規則

スローピッチソフトボール

1. 用 具

(1) ボール

試合球はゴム製で、4号球のソフトボールとする。

2. チームと選手

(1) チームの構成

チームは守備につく選手11名以上18名以内と、エキストラヒッター2名以上5名以内で構成し、監督の兼務を認める。※守備とエキストラヒッター兼務の人は、両方に名前を登録する。プレイヤーはエキストラヒッターを採用し11人構成とする。

守備につく10人目のプレイヤーは、投手・捕手の定位置以外のフェアー地域のどの場所で守備をしてもよい。

(2) 選手の資格

監督、選手ともにPTA会員とする。

(3) 服 装

- ① ソフトボールのできる服装（ユニフォーム可）とする。
- ② 背に番号のゼッケン1番～18番を付ける。監督は30番とする。EHは本部が準備したビブスを着用する。
- ③ 帽子着用（サンバイザー可） （注）着用してない場合出場不可
- ④ 危険防止のため鉄製のスパイク付は禁止。
- ⑤ 捕手は、ガード付きマスクを着けなければならない。
- ⑥ ヘルメットを着用することが望ましい。

(4) 監督の役目

監督は、競技者の交代とタイムを要求することができる。

監督は、いかなる場合でも審判の判定に、異議を申し立てることはできない。

(5) 開会式と閉会式

開会式には全チーム全選手が整列する。

閉会式は上位3位まで整列する。

3. 試合の進め方

(1) 形式および勝敗

- ① 予選試合はリンク戦で行い、決勝試合はトーナメント形式で行う。

- ② 試合は7回戦とするが、45分経過後は新しいイニングに入らない。
- ③ 最終回裏の攻撃で得点が入った場合（さよならゲーム）、1打者分の得点が加算され試合終了とする。
- ④ 予選試合の勝敗は勝点（勝ち2点・同点1点・負け0点）、失点（少ない方が勝ち）の順で決めるが同点の場合は11人（EH1人を含む）でジャンケンを行い、順位を決定する。
- ⑤ リンク戦（予選）の1位決めが同点の場合は本部席前でジャンケンを行い決定する。
準決勝・決勝で同点の場合は1回のみタイブレーク制を導入して延長戦を行う。
それでも同点の場合は各コートで審判長同席のもとジャンケンをする。
- ⑥ 棄権チーム出た場合、相手チームは不戦勝とし勝点2失点0とする。
- ⑦ 決勝試合において、7回戦もしくは45分経過後同点の場合、1イニングのみタイブレークにて勝敗を決める。それでも決着がつかない場合は④同様にジャンケンで勝敗を決める。
〈タイブレーク制度〉*攻撃側のチームは、無死、一・二塁の状態から行う
*一塁に置くランナーは、先頭打者の前の打順の選手
*一塁ランナーの前の打順の選手が二塁ランナー
*守備側の選手交代やポジション変更、攻撃側の打順や代走は可能

（2） エキストラヒッター

- ① エキストラヒッターとは、打撃専門のプレイヤーであり、単位PTA会長、副会長もしくは学校長、教頭がエキストラヒッターとなれる。
- ② 人数は1人で、試合開始から終了まで継続する。
- ③ 打順はその試合中、同じ順位であり、守備にはつけない。
- ④ 何時でも代打者・代走者と交代できるが、その交代したプレイヤーが次のエキストラヒッターとなる。
- ⑤ いったん試合から退いた場合は、再度その試合にでることはできない。

4. プレイ上の動作と反則

（1） 投 球

- ① 投球は、本塁に達するまでの間、地面から3m以下、1.5m以上の空間をアーチを描くように投げなくてはならない。（スピードを超過して投げてはならない。）
これに違反した選手には警告を与える。この警告の後再び違反した場合は投手になれない。（ただし、他の守備につくことはできる。）なお、この場合の投球はボールである。
- ② 投手は、下手投げでなくてはならない。
- ③ 投手の投球練習は、1回目は3球以内、その後は1球のみとする。
- ④ 死球による出塁はない。
- ⑤ 打者を敬遠したい場合は、そのことを審判に告げるだけでよい。
- ⑥ 投球のとき、投手は片足か、両足で白線に触れていなければならない。
- ⑦ 投球のときは、2秒以上完全に停止しなければならない。
- ⑧ 投手は、球を受けたら10秒以内に次の投球をしなければならない。

- ⑨ 不正投球を打者が打った時、または空振りをした時はインプレイである。

(ボールにはならない。)

- ⑩ ストライクゾーンは、打者の捕手側の肩から投手側の膝までの本塁上の空間をいう。

(2) 打者・走塁・守備

- ① 打者は、バンドをするとアウトとなる。(ボールデッド)

- ② 2ストライク後のファウルボールは、打者はアウトとなる。

- ③ 盗塁はない。

- ④ 捕手は、投球を受けたらすぐに投手に返球する。

- ⑤ 走者は、投球が本塁に届く前に塁を離れたらアウトとなる。

- ⑥ 打者は、球審がプレイを宣言した後、10秒以内に打撃姿勢をとらなければ1ストライクとなる。

- ⑦ ワンバウンドの投球を打ってもそれは正しい打球とはならない。

*ベースを正しい状態で通過し、ワンバウンドの球を打った場合＝ストライク

*ベース前や、ベースにワンバウンドした場合、ベース上を通過しなかった場合のワンバウンドの球を打った場合＝ボール

- ⑧ 打者は、バッターボックスから出て打った場合、アウトとなる。

(3) ボールデッド

- ① 投球が打たれなかったとき。

- ② 投球がいったんホームプレートの前やホームプレートに落ちたとき。

- ③ 正しい投球が本塁に達する前に、走者が与えられた塁から離れアウトになったとき。

- ④ 投球が、ボールまたはストライクと宣言されたとき。

- ⑤ 球が不正に投げられたとき。

- ⑥ 投球を除く送球がデッドラインを超えた場合、走者がいる場合は送球時の走者の位置からテイク2となる。

- ⑦ A・Bコートについては、フェンスを越えたとき。

C・Dコートについては、デッドラインを越えたとき。

(4) その他

- ① コールドゲームはなし。

★要確認

- ② タッチアップはなし。フライがアウトの場合は元の塁に戻らなければならない。

- ③ ダブルベースを使用。

- ④ ランナーコーチは必ず出る。

- ⑤ スライディングはOK。

- ⑥ 試合途中で雨が降り出した場合。

予選リーグ試合中に雨で中止になった場合は、順位を決めずに解散。

準決勝・決勝中での雨天中止の場合は、その時に試合に出場していた11人でジャンケンを行い、順位を決定する。